

## 令和2年度淡路くにうみ夢フォーラム 概要

1. 日 時 令和3年3月13日(土) 13:30~16:30
2. 場 所 南あわじ市広田地区公民館
3. 出席者 ビジョン委員20名・一般15名、専門委員4名、来賓3名、  
本部・幹事2名、講師薮田氏・アシスタント1名、陪席2名、本庁・事務局6名  
計54名

### 4. 内 容

- (1) 開会あいさつ(山本委員長)
- (2) 来賓あいさつ(永田県議会議員)
- (3) 兵庫県将来構想試案の説明(ビジョン課 木南課長)
- (4) 淡路新地域ビジョン検討状況の報告(交流渦潮課 剣物班長)
- (5) ワークショップ(未来新聞作成)  
テーマ:「未来の淡路島を想像しよう!」  
講 師: 薮田雪子事務所代表 薮田 雪子 氏  
アシスタント 薮田 潮美 氏
- (6) グループ発表  
完成した未来新聞の写真は最後に添付
- (7) 明日への決意

#### 【出た意見一覧】

- ・淡路島でバリアフリーになっていない道やお店をピックアップして、住みやすくなる具体的な提案を考えていく。
- ・綺麗な淡路島を目指していくために、まずは第一歩として自分の部屋の掃除をする。身の周りから始めて、徐々に通り道や職場などにも広めて綺麗にしていきたい。
- ・30年後にどこにいるかは分からないが、とりあえず明日からも健康に過ごしていく。
- ・自然豊かな環境に配慮した3R(リデュース・リユース・リサイクル)を笑顔とともに実行していく。
- ・オンライン会議について勉強していきたい。
- ・個人的に掲げている4感(感謝・感激・感動・感杯)を目標に、30年後にまた皆様とお会いできるように健康に気をつけて過ごしていきたい。
- ・淡路島に来たのは今回で3回目である。今日からも含めて、今後淡路島にきたら大量に買い物をして淡路島にお金を落とすことを心がけていきたい。(薮田先生)

## (8) 講評

### ①田中亨胤専門委員

明日は淡路島に行くと考えたとわくわくして、昨日は眠れなかった。淡路島に行くとき家族に伝えると、良いねと羨ましがられるくらい、淡路島は魅力的なところである。藪田先生が言われていたのと同様に、私も淡路島にきたらお金を落として帰るようにしている。

本日のワークショップでは、楽しそうな雰囲気が素晴らしかった。皆様が日頃から色々なことを考えられておられるからこそ、多くの発想や着眼点を思い描くことができ、納得のいく新聞を作ることができたのではないかと思います。

30年後の私は100歳を超えているが、マイドローンで淡路島まで飛んでこようと思っている。30年後も玉ねぎやレタス、花、海の幸、ビールはぜひ残しておいていただきたい。家族で子育てをする中で淡路島には素晴らしい思い出があり、ずっと気持ちが淡路島にあるため、京都に住んでいてもこだわって淡路島の玉ねぎを選んでいる。30年後も今日のように淡路島で私と出会い、挨拶していただければ最高に幸せである。

### ②横山孝雄専門委員

テーブルを見させていただいて、こちらまで大変楽しく心がわくわくするようなワークショップだった。1期から専門委員をさせていただいているが、今日が一番わくわくした。ご案内いただいたチラシでは「未来の淡路島を“想像”しよう！」とあり、私には“創造”の意味合いが抜けているように感じていたが、今日の皆様は「創造」の結果をイメージしてプロセスを話し合っていたらと思う。淡路島が世界一の島に選ばれるまでの経緯など、過去形で話をして新聞の発行日を考えられていたほか、交通網についての議論を飛び越え、空中に飛ぶという意見には大変驚いた。

今日は2つの数字をもってきたので覚えて帰っていただけたら嬉しい。県のビジョンについてご説明いただき、共感・賛同した。ビジョンを更に大きくとらえると、世界的な規模のなかで欧州・米国・中国・日本・豪州などで、グリーンディール政策という動きが出てきている。全てがグリーンになっていく動きのなかで、1kwの電気をつくるたびに100g以上のものはダーク電力、それに対してグリーンやグレーという呼び方の電力もある。石炭はダーク、天然ガスはグレー、水を電気分解した自然のグリーン水素など。その中で、神戸の会社がやろうとしている石炭火力は、1kw1000gであり、世界的に通用しなくなってきている。もうひとつの数字は50g。車を1km動かす時にでる二酸化炭素の量が50gまでがグリーンな車。プリウスはヨーロッパの基準からすると2025年までは環境車(グリーン)、それ以降はグレーになる。グリーン分類(=タクソノミー)というのが世界的なオーダーのなかで動こうとしている。

淡路島は自然エネルギー電化率が30%を超えている。皆様の未来新聞の中には石炭やガスについて書かれていない。県のプランの中では、地域によって明暗が分かれており、神戸は暗である。淡路島には輝かしい未来があると思う。田中先生とも協力してこれからも頑張っていく。

### ③投石文子専門委員

起草の段階から携わってきたので、20年ほどビジョンとはお付き合いがある。先ほど神戸は暗と言われてドキッとした。37年前に神戸から淡路島にやってきて、当時は橋がなかったので反対も多かった。橋が出来てからは近くなり反対もされなくなったので、30年というのは色々な変化があると思う。ビジョンの改訂の時も関わりがあったが、淡路島は環境立島というキーワードを大切にしてほしい。起草の際に淡路景観園芸学校の先生と相談し、自然環境も素晴らしく社会環境も整っている安全安心な淡路島をつくりたいという意味を込めて、環境立島という言葉を使わせていただいた。ビジョンをこれから作っていくなかで、柱にしてほしいキーワードであると思うので、ぜひ引き継いでいただけたら嬉しい。

私自身は島の研究を長年やってきており、島にはそれぞれ活性化の種になるものがいっぱいある。今日グループを回るなかで、淡路島の人々が淡路島のことを知らないとおっしゃっており、その通りであると思った。そういう意味で、淡路学を更に広めていくことをライフワークにしたいと思っている。

淡路花博の最初の実行委員であり現在の淡路信用金庫をつくった瀧川福市さんは、小さな貯金箱を組合員に配り1日1銭を貯めることで淡路島のお金を守り、今の銀行のもとをつくったとされている。淡路島は人も宝物であり、他の地域にない地域性をもっている。人も大切にしながらこの淡路島を盛り上げていきたい。

### ④藤原道郎専門委員

今日は大変楽しかった。未来の事柄を現実近づけるということで、交通手段が発達し移動しやすくなったという意見があった。今ある農業や食に関しては今後も大事にしていくという意見も皆様から出てきており、そこは続いていくのではないかと思う。その土地を生かしていくことが淡路らしさである。

里山保全のためにはお金や人員が必要だが、それは課題ではなく、そこから活性化に繋がるなど、空き家や空き地であることが実は重要である。防災に関しても、適度な土地や人、自然があることで復興が進んでいく。今あるものをマイナスではなくプラスに考えていけるだけの資源が淡路島にはある。マイナスを逆にプラスに変えるという案が、今日の未来新聞を作るなかで具体化できたのではないかと思う。

自然環境生態系を基盤として生活を続けることで発展し、淡路島の自然を魅力に感じて島外からも企業がやってくる。バランスのとれた島の発展を具体的に動かしていけるのではないかと思う。

⑤永田秀一県議会議員

今日は本当に夢のある提案を沢山出していただいた。行政や政治に関わる者はどうしても現実的な考えになり、ついつい悪い方へと考えてしまう。少子高齢化、人口減少についてなど。皆様は夢をもって色々なことを語ってくれており、嬉しくなった。夢のある話を聞くことによって、我々政治に関わる者もそれを活かしていくようにしたい。私からは、今日の発表をタイムカプセルに入れ、埋めておくことを提案したい。2050年に掘り起こして実際にはどのような淡路島になっているのかを語りあってもらえたら嬉しく思う。それが今後の淡路の発展に繋がっていく。

何をするにしても人の繋がりやコミュニケーションが大事である。一人ではなにもできないが、例えば、阪神淡路大震災の時に旧北淡町では亡くなった方が少なかった。これは皆様の日頃の付き合いがあり、助け合えたからこそである。そうやって地域社会ができあがっていく。人の繋がりを大事にして、これからもぜひ頑張っていたきたい。

⑥浜田知昭県議会議員

去年から続くコロナ禍において、不要不急の外出自粛の生活の中で皆様が一番感じているのは、不要不急の大切さではないかと思う。例えば、文化やスポーツ、会話、食事のほかにもうひとつ必要なのは夢である。本日の夢フォーラムの中で皆様の想いを出し合っていただけなのは本当に有難いことである。皆様の多様性のある夢の実現に向けて頑張っていきたい。30年先は多様性のある淡路島が本当に実現していると私は確信している。ぜひあと30年頑張っていきたい。

⑦原テツアキ県議会議員

この30年というのは、日本にすれば戦後30年で大きく飛躍している。現在アメリカを追い越そうとしている中国も、30年間で大きく成長している。私がサラリーマンをしていた時、会社では50歳になると社長も社員も同じ研修を受けた。「これからの30年でどのような生き方をするのか」をテーマに、自分がサラリーマンになってからの人生の棚卸しと、これからの人生について考える。サラリーマンであれば、普通は65歳まで働き、時々ゴルフをして、70歳で病気になり80歳で死ぬような人生を送るだろう。これではいけないと思い、55歳で淡路島に帰ってきた。自分の将来を考えることは大事である。

(6) 閉会あいさつ (亀井県民局長)

(6) グループ発表

A班

2050年7月24日

# 世界一の島に選ばれました!!

空のタクシー(種屋空発)東瀬、洲本、福良までハリーコプターでいけるようになります。

明石大橋の5年前に島民は全員無料になったのとき、かけに島に残る住民が増え、初住者も増えました。またこの二年の東京パラリンピックにかけに島内のバリアフリーの意識が高まり、3年後には東いっさりまふ高速バスに乗れるようになった。国内外誰でも来やすい島が、一歩の理由です。

空を家リノベリ、世界一の家が、体験できます。

## 建築大会開催

世界で有名なあの写真家外務路島に木匠、風景や自然を写真集撮り、SNSにのせた、その写真がバズり、後路島に若者たち外をそくともおとすられた。

あつね家加炭路島に!!

交通の便外 良くなら 炭路島の平和は 絶好で24-100 (X)の国の(O)K) ゴミ外一つも 落ちてない。

淡路島の「ミジUP! 個性豊かな民泊で安心安全でスムーズ。炭路島の魅力体験十分できます。

「ミミ出マセカイイノ島」エコシステム」に「世界が注目!!

淡路島は自然をまわって、日本語をわけて、本島(に)良のミミだと思はれた。

親光亭

日本発

淡路島の「ミジUP! 個性豊かな民泊で安心安全でスムーズ。炭路島の魅力体験十分できます。

炭路島の「ミミ出マセカイイノ島」エコシステム」に「世界が注目!!

淡路島は自然をまわって、日本語をわけて、本島(に)良のミミだと思はれた。

親光亭

B班

# 島を活かすグループ

## べっちゃいな新聞

### 全国住みやすいく行

ラニニグ{淡路市}

#### 15年連続1位獲得!

#### (食部門) (住宅部門)

食量自給率120%!  
 ×チヤホィしい魚  
 ○梅比山の美しい自然と暮らす。  
 ○毎朝海を眺められる!

安全で健康に! なる  
 ○古民家リノベ平100%  
 ○大工、神匠、職人、匠  
 ○島内を徘徊し、職人、匠  
 ○空気に香らせ、住みやす

#### (健康長寿) (交通)

100歳まで働ける程  
 健康長寿者最多人数  
 高血圧、糖尿病、がん  
 医療施設が充実

南西国際空港  
 船交通が発展  
 最新システム導入。近

#### (教育) (スポーツ文化)

・小中高校の総合運動場  
 専任教員、専任施設  
 ・地域づくりを育む「EYE」スポーツ  
 ・海外の人材を育成、人材交流

#### (インフラ) (世界交流)

島全体的な防災対策  
 国土建設省一自治体  
 ○島を「五」国「一」国  
 ○EU、BRICS他諸国とのOED継続

2050年 3月31日 (防災)

南部防潮堤  
 改修工事 完了!!

中山間  
 スキートン工程  
 改良工事 完了!!

D班

# 新聞

## 2051 3月20日

### 若者であらゆる島

帰って来よー!!

今春の卒業した若者が次々と島へ帰る。島では農業法人への就職が一審人気に伸びている。多くの若者に育ての親に似てくまの野暮が食はれる日女を思い出して

### 大賞獲得

豊津水産祭で淡路市の小田原音のことが花部門で最優秀賞を獲得しました。真田さんは兄の仕事の関係で3つの野に淡路島に滞在して島の美しさを写真で撮りながら心を癒して帰りました。この島にも若い方が花作りを頑張っていると語っています。

### 野菜が空を飛ぶ

人は野菜でできている。悪人(ワルター)からAIを使って育てられている野菜の管理は全てAIが行っている。収穫した野菜はAIによって新鮮度を測りながら新鮮さを保ちたい!

### 30年後の淡路島

三市水はいつでもあったらいいから、魅力を発信して子供達が育つ島

### 30年後の淡路島

自校通信制の高校、国技館、島外への進学も可能。島外への進学も可能。島外への進学も可能。

C班

# 新聞

## 2050年3月13日

### 空中移動と渋滞解消

三州自動車

淡路島と本洲を結ぶ海空ハイウェイが完成。渋滞が解消される。

空中国際空港 新築 2050年3月13日

淡路島と本洲を結ぶ海空ハイウェイが完成。渋滞が解消される。

淡路島と本洲を結ぶ海空ハイウェイが完成。渋滞が解消される。

### クラス

### 情報 = 求人情報 =

★ドローン実習★  
時給 3000円  
地域 全島

### コトブシ

場所: 三州自動車 500号線 空店舗  
日時: 2050年3月13日

淡路島が公共交通でも「島」になる。半世紀以上前に開通した明石海峡大橋に高速度のトンネルが開通した。淡路島は完全な車社会で、高層ビルや多層住宅が建ちあがり、どこに勤めようと、何時でも移動できる。この問題を解決するためには、理想郷に近づきたい。淡路島は公共交通の理想郷になる。

E班

島と守る Newspaper

2051年2月15日

復興から10年

阪神淡路大震災や東日本大震災、南海よつ地震を経て、世界一災害に強い島へ復興!!

1ヶ月ぶりの恵み雨  
水の自給率100%を確保

宇宙へ  
島の恵み宇宙食  
ミックス

淡路島のたんじり唄  
オリエンタル開会式へ!!

ロボット  
たんじり

島と守る  
島実現  
地と  
まなま

F班

淡路島と守る!

二 [淡路版] 激増 = 軒家 =

長寿の楽しみ 家族、友達、街、飲食

無料化 活かした交通網の活用

紀淡海(来)に溶化

一軒家と活用

防災のネットワーク

一市合併から20年

誰かが住みやすい島へ

募集 島びりスポット一求む (企業個人)

しま新聞 2051年1月3日

1. 交通
2. 防災
3. 長寿の島
4. 空土地、空土室、建設会社
5. 行政とインフラ